

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 3 月 9 日

事業所名 オークストラ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	②	職員の配置数は適切である	4				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			毎朝のミーティングの際に、目標設定や振り返りをする時間が設けられている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		3	現在、第三者による外部評価は受けていないため、スタッフによる事業者評価と保護者評価アンケートの結果を業務改善に繋げている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			適宜スタッフのミーティングの際に案内している。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			各専門職（保育士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師）が子どもの様子からニーズや課題について話し合った上で計画の作成を進めている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1	・全ての利用児に実施しているわけではなく、保護者の希望等必要に応じて実施している。 ・客観的な検査は他事業所と重ならないよう、情報共有している。	他の事業所や発達支援センター、医療機関などで行われた検査結果の共有を図り、子どもの支援計画や状態の把握につなげている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		特定のスキルや動作の獲得や上達を目的としている場合には、同じ活動を繰り返すこともある。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		「平日だから」、「休日だから」といった理由で細かく活動は設定していない。支援計画と利用児の様子や発達の状況に則って活動を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		1	オークストラは個別療育を行う事業所であるため、集団活動に関する目標等は支援計画に含めていない。ただし、同じ時間帯の利用児同士の関わり等があった場合には、様子として書くこともある。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4				
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4					
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		1	直接主治医とのやり取りは行っていないが、保護者への聞き取りを丁寧に行い、健康状態の把握や必要時の対処について共通理解を図っている。	保護者の希望や、必要な場合は連携を取る。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4					
㉕	（地域自立支援）協議会等積極的に参加している	2	1	1	会議や研修会等には参加している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援・案内を行っている	3	1		実施はしていないが、ペアレント・トレーニング等の案内があった場合には掲示していた時期もある。	
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	2	・オーケストラは個別療育を行う事業所であり、集団療育のように保護者同士が顔を合わせる機会が多くないため実施していない。実際、保護者アンケートでも開催を望む声は少なく、実施に関しては慎重に検討している。 ・希望をとって確認している。	
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			頻度は低いですが、ホームページおよびInstagramで活動の様子などをお伝えしている。	
	㉛	個人情報に十分注意している	4				
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		防犯マニュアルは作成しておらず、早急に作成する必要があると考えている。	防犯マニュアルを速やかに作成し、利用者へ周知する。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		身体拘束に関する3原則（緊急性・非代替性・一時性）だけでなく、もし実施しなければならない場合には必ず保護者からの同意も得ることとしている。	
	㊲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。